

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却の方法は、定額法によっている。

#### (2) 引当金の計上基準

賞与引当金…職員の賞与支給に備えるため、将来の賞与支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高
基本財産				
基本財産定期預金	8,000,000	0	0	8,000,000
小 計	8,000,000	0	0	8,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	537,000	1,270,245	1,193,245	614,000
事業積立預金	7,000,000	0	0	7,000,000
小 計	7,537,000	1,270,245	1,193,245	7,614,000
合 計	15,537,000	1,270,245	1,193,245	15,614,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末 残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本財産定期預金	8,000,000	8,000,000	0	0
小 計	8,000,000	8,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	614,000	0		614,000
事業積立預金	7,000,000	0	7,000,000	0
小 計	7,614,000	0	7,000,000	614,000
合 計	15,614,000	8,000,000	7,000,000	614,000